

北大生協 2021 年度第 3 回定例理事会 発言録

1 日時 2021 年 7 月 21 日（水） 18:15～19:45

2 場所 北大生協会館 3 階・会議室（札幌市北区北 8 条西 7 丁目）

以下の理事は、web テレビ会議システムにより出席した。

安藤亮博理事（自宅、北海道札幌市北区）

林 忠 一 理 事（北海道大学内事務所）

井崎貴皓理事（自宅、札幌市北区）18:18～

金川眞行理事（北海道大学内事務所）

伊藤美香理事（北海道大学内事務所）19:10～

今 村 央 理 事（自宅、北海道函館市）

原 拓 也 理 事（北海道大学内研究室）

奥山莉子理事（北大生協会館 4 階ブロック事務局室）

三澤建成理事（自宅、北海道札幌市北区）

吉川牧瀬理事（自宅、北海道札幌市北区）

3 出席役員

理事総数 21 名中 16 名出席

（出席理事）小助川誠専務理事、鏡秀隆常務理事、安藤亮博理事、林忠一理事、金川眞行理事、高橋廉理事、井崎貴皓理事、小松慎太郎理事（18:37～）、伊藤凌理事、伊藤美香理事、今村央理事、原拓也理事、奥山莉子理事、高木暉馬理事、三澤建成理事、吉川理事

（注：web テレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席理事）坂爪浩史理事長、小篠隆生理事、笠原敏史理事、久保淳司理事、吉田牧瀬理事

監事総数 5 名中 5 名出席

（出席監事）芳賀永監事、岡野泰樹監事、宮本桜桃監事、斎藤環温監事、運天ひなた監事

（注：web テレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（オブザーバー）嶋崎聡（大学生協事業連合北海道地区管理統括部長）、野呂香綸、齋藤次長、村田マネージャー、神田マネージャー

なお、議事に先立ち理事会参加者全員が、一堂に会するのと同様に十分な意見交換ができることを相互に確認した。

4 議長 高橋常務理事

5 上記の通り理事の出席があり、理事会規則第 8 条に基づき本理事会は成立した。

18 時 15 分に理事会規則の規定により、議長に高橋常務理事を選任した。高橋常務理事は、理事会の開会を宣し議事に入った。

○議決事項第 1 号議案 2021 年度 5 月期営業総括及び決算承認の件

（金川）書籍の今年度予算を低くしていると伺ったが、教科書で 5 千万円マイナスとなっているのは、ほかの月に計上されていますか？それとも今年度は教科書の供給はない見込みですか？

（小助川）昨年は宅配を併用していたため、精算が終了したのが 6 月でした。今年はそこを工夫したので、5 月に供給を上げられました。実績的に前期の教科書は、昨年対比で伸長して終えています。

（金川）本学の BCP レベルが 3 から 2 に下がったのが 6 月 21 日からですが、各学部の授業は学期の途中ということで、それほど大きな変化はなかったかと思います。7 月 1 日まで数日間しかなかったが、その辺で生協として変化を感じた

りましたか？

（小助川） 7月1日までの間、継続して同じ営業時間帯でしたが、利用の実態としては大きく増えたという傾向はなく、どちらかというと下がっています。本来、BCPレベルが下がって1, 2日後には営業時間を戻したいと思っていたが、人員の体制と食材の手配にどうしても2～3日かかってしまうので、7月1日に営業時間を戻すことになりました。

○第2号議案 21年度内部統制の整備と執行方針決定の件

（金川） まず2つ質問をさせてください。

一つ目は災害マニュアルの改訂ということですが、どういった災害を想定されて改訂されるのですか？

停電や地震、火災など災害の種類によって対策も変わってくるので、かなり複数のマニュアルを準備しないといけないかなと思うが、どういった形で改訂されるのか伺いたい。

二つ目は「議題2」のところで①の個人情報云々のところで。昨年、メールを送信する際のC・C・B・Cの扱いのミスがなくするためのソフトがあることを提案させて頂いたのですが、その後どういった対応をされているのかを伺いたいです。

（鏡） 災害マニュアルですが、基本的には地震を想定しています。金川理事のおっしゃる通り、いろいろな災害に対応しなくてはならないのですが、全てには対応できないので、基本的には札幌市の災害マニュアル等を参考にしながら実態に合わせて作っています。地震と火災とは違うとは思っていますが、取り掛かり切れてないのが実態です。

個人情報の誤操作等の対策については、システム担当のほうに調査をさせており、いくつかの業者との打ち合わせをしているが、費用対効果等含めて悩んでいる状況です。本当は早急に対応しなくてはならないのですが、まだ情報収集に取り掛かっている段階です。

（金川） もう一つですが、内部統制の②に付け加えたらどうかという事柄があるので提案をさせていただきます。議題2が「事業執行の手順等が法令、定款、規約、規則に則って運用されているのかを点検し、改善します」というところで、②に「店長やMG以外の若手職員」とあります。この内部統制の上の2013年度に理事会決定した基本方針1, 2項には「理事・委員及び職員」とあり、その部分の業務執行の確認というのは、内部統制というのはどういうふうにしていくのかなというところで、今日の理事会の資料を見せていただきますと、まず3Pの冒頭の「起案年月日」が4月になっています。それから議題なのですが「2021年6月営業概況報告」とありますが、これは報告ではないですね。それから6Pの冒頭のところ、取扱項目「決定事項2」とありますが今回の提案で決議事項2というのはないですね。それと20P、ただ単に「議案」と書いてありますが、他と比べると「議案2」と書くのが正しい。そのへんはどういうルールになっているのかなと思います。21Pの学生委員の報告を見ると、そこは冒頭「議案」になっています。ということで、我々理事もどこかでちゃんと生協のルールを学ぶ機会を作らないとだめなのではないかと思うので、我々を外す理由がないのではないかと思います。下の方だけじゃなくて、我々も総代会が最高議決機関だとすると、その下で意思決定をする重要な機関という理事会のメンバーがちゃんとルールを把握したうえで物事を動かすという風にしていかないとかなり雑になっていくのではないかなという気がします。まずこのメンバーの意識合わせをする機会があってもいいのではないかなと思います。良ければ議題に③として、ほかの職員の方や理事を含めた役員の理解を深めることをする機会があってもいいのではないかなと提案させていただきましたので、ご検討いただければと思います。

（小助川） 金川理事、ありがとうございます。今日の議案も含めてきちとした統制が取れていないということで申し訳ございません。そういうところから改めることが必要だと思っております。

理事の学習会は例年新任理事の研修という形で実施しておりましたが、今年も検討させていただきまして、新任理事の研修を実施していきたいと思っています。それ以外のご提案についても重要なことだと思いますので、いったん持ち帰りをさせていただきまして、改めて、理事の関わりについてご提案させていただければなと思っています。

（鏡） 議案提案については、本来は常務会でも確認しながら理事会に提案するということで、点検を行っています。また、表題の付け方については、単純なケアレスミスが多発したということを含めて、しっかりと作成時に点検をしなくてはと思っていますのでよろしくお願いいたします。

(金川) 常務理事会でもんだうで理事会に上がってくる議題が多いと思うのですが、そこでどういう議論があつてどう変わつてこの理事会にできてきているのかということが聞きたい議案のときもあります。きれいな状態で上がってくると、果たして既に行つた議論なのかどうかで余計なことを指摘してしまうこともあろうかと思うので、その辺も含めて説明するときに教えてくださいと審議がしやすいのではないかなと思います、可能でしたらその辺も併せてご検討ください。

(小助川) 提案の中に、常務会での議論の経過などを含めて、許す範囲で説明するということを意識していこうと思います。

○報告事項 4 営業報告

(奥山) 購買でご褒美デザート企画のイベントをされていましたが、実際仕入れをどれくらいして、どれくらい売れたのか単純に気になりました。

(齋藤) 北大生協としては、金銀ケーキ 600 本強、クリームパンは 1200 個くらい仕入れをして、だいたい 1000 個くらい販売をしました。

(奥山) ほぼ毎日生協会館の購買店に行くのですが、最近、夕方に食べ物がたくさん余っている日と何もない日の差がすごく激しいなと感じています。今日も昼過ぎに会館店のお弁当が皆無だったと聞いていて、なんでこんなことが起こるのだらうと疑問です。利用分析などはされているのですか？

(齋藤) 仕入れは客数予測に基づいて行われています。コロナ禍でハイブリット授業が行われているので対面なのかオンラインなのかを読み取るのが難しく、ブレが生じているのが正直なところですが、予想客数は、前週の曜日とその週の増加傾向などを踏まえて、最終的には二日前に発注数を決めているところなのですが、特に会館店の場合は学部店の中にあるわけではないので、なにかしらの要因ですごく余ったり足りなくなったりがある状況です。この発注精度は、日々上げていくことが課題にもなっているので、引き続き試行錯誤したいと思っております。

(奥山) 学生だからこそ知っている対面授業の情報があつたりと思うので、そういう意見とかを理事会や購買に来たお客さんをつまえて聞いてみたりできたらいいのかなと思ったりしました。

(高木) この 14 P 以降の全大学の損益数値が載っている表ですが、右端、総資本経常剰余率の列で緑の網がかかっている大学が良いということでしょうか。

(小助川) そうですね。上位数が理想値ということで 6 % 以上確保できているところは最終的に全部引いて 6 % 残っているということは理想的な会員ですね。

(高木) このままでは見づらいので、北大生協と同規模の会員を抽出して載せてくれると見やすいと思います。

(小助川) 例えば旧七大学でも店舗数も違うし、営業時間も違う。コロナの緊急事態宣言で休業する度合いなども違ってくるなど全く営業スタンスがちがうものですから、単純に比較がしづらいです。北海道地区は 6 月だけの数値見ると苦戦している。でもいい地区もあるし、学生さんの対面授業の在り方とかによっても差が出ています。

(鏡) 今回資料としてお出したのは、全国の状況がどうなのかということを俯瞰して知っていただきたいということで資料として載せさせていただきました。19 年度に「経営再構築タスク報告」を策定した際には、八大学の比較をしたのですが、組合員数や店舗数も違いますし、供給の構成比も異なっています。しかし、その中でも、教訓などを生かしたりしました。

(井崎) 先ほどの奥山さんの意見に関連するところで、購買や食堂の利用客数が大きく変動しているのは、天気や気温の要因がけっこう大きいのではないかと思います。オンライン授業とかが増えてきていることはあまり関係なくて、授業が結構定期的なので、授業が変わるとかはあまり考えられない。購買会館店は結構その日に行かなくてもいいようなサービスを受けに行くところがあると思うので、天気が良かったら行こうかなとか、天気が悪かったらやめようかなというのが多いと思う。二日前なら天気予報とかでも予測できるので、そこも検討していただけるといいのかなと思いました。

(小助川) 工学部店は営業を縮小はしているのですが、雨が降るとぐっと売り上げが上がります。逆に天気がいいと外に出る傾向があるので下がります。天気や気温は、各店舗ともコロナ禍前から通常に意識しているポイントでもあります。ただし、今の客数の変動は授業の在り方とかそういうのについても本当に難しいです。雨降ったらオンラインでもいいやつと

なって来ないとか、そういう傾向になってしまいます。

（井崎）いつも中央食堂へ夕方に行くことが多いのですが、雨だったらいかに家にこもって食べていることが多いです。

（小助川）そうですね、天気というところも意識して発注に生かせるようにしていきたいと思います。

（伊藤）ここ一か月、学校に行くことが増えたのですが、夕方にメインストリートを歩く学生数が明らかに増えた気がしているが、学校内で開かれる授業が増えたのではないかと。大学院生になって学部のこと是一切知らないの、生協の職員さんが把握されているのかわからないのですが、この中で7月に入ってから対面授業の変化についてわかる方はいらっしゃいますか？もしくは授業の形式が変わった人（学校に来てよかったなど）はいますか。

（鏡）監事の皆様、経済学部はどうですか？

（岡野）あまり経済学部はかわっていないと認識しています。対面授業は可ということにはなっていますが、それほど急に対面授業が増えたという印象は受けておりません。

（奥山）図書館でオンライン授業を受ける人が一気に増えた印象があります。緊急事態宣言下では図書館は基本的に蔵書の利用に限られ、オンライン授業を受けることは禁止で、置いてあるPCの利用も不可という制限がかかっていたが、レベル2に下がってからは普通に入れて勉強もできるようになりました。オンライン授業を大学に来て受けることってありませんか？それで登校する人が増えたのではないかと思います。井崎さんが先ほどおっしゃっていた「今日は雨だからオンライン授業は家で受けるか。今日は大学行ってオンライン授業受けるか」みたいな違いになっている気がします。

（高橋）実際そういう方いらっしゃいますか？図書館等でオンライン授業を受けるようになった方は…？

（原）これは完全なる私見ですが、多分夏になったからではないでしょうか？エアコンを持っていない人たちが、図書館でオンライン授業を受けるようになったからではないかと思っています。ここ最近図書館に止まっている自転車の数が爆増していて、止まりきれないほどになっています。多分暑い家から逃げて、涼しい大学で受けている方がたくさんいるのではないのでしょうか。

（伊藤）はっきりと、大学や生協の動きがあったからではなく、学生の自主的な行動で増えているようだとということですね。

（鏡）これから教科書販売の準備を進めているところで、今書籍部のところでシラバスの調査をするのですが、シラバスの情報も古くなっていたりして、対面なのかハイブリットなのかオンラインなのか正確ではありません。書かれていることをとりあえず集計するしかないと思うし、問い合わせすればお答えいただける学部もないことはないですが、それ以外の学部が協力的にしていだけるかというそういうわけではないので、与えられた情報を基に現行を含めて客数の伸びを考えながら、客数を想定しています。これは昨日今日で始まったことではなく、何十年もそういう形でやってきているのでそういうところでの経験値が、コロナ禍でちょっと使えてないというところで齟齬があるかなと思います。その点は、今後の課題です。

○報告事項6 理事会室報告

（今村）函館キャンパスはコロナ禍にはありますが比較的落ち着いて学生たちは学習・研究を進めているように見受けられます。現在大学の行動指針レベル2の状態ですが、函館では感染者があまり出ていません。函館市の感染者数も毎日数名もしくは0名の日もあったりします。それから幸いなことに、函館キャンパスではまだ感染者が出ていないということもありまして、7月7日よりレベル1に準じた対策をするということになりまして、札幌にいる皆さんよりは少し制約が緩い状態で生活しています。

ただ、札幌のほうでは職域接種がどんどん進んでいる状態ではないかと思いますが、函館のほうでも7月下旬から8月下旬まで一回目の接種があると連絡があったのですが、残念ながらまだ予約も進んでいない状態で、こちらは先のどのように進んでいくか不透明な部分もあったりします。簡単ですが以上お伝えします。